AEMC NEWS

AEMC　2024. 8. 1 Vol. 5　2024 第5号

発行：東京大学　先端科学技術研究センター
教科書デジタルデータ管理機関 AEMC
東大先端研
Research Center for Advanced Science and Technology The University of Tokyo

　2024年6月28日（金）13時～15時に、東京大学先端科学技術研究センター4号館2階講堂にて、第2回拡大教科書フォーラムが開催されました。今年度の参加者は、拡大教科書製作に携わる19団体42名でした。

　さて、今回は事前アンケートの結果に基づき、①AEMCからの説明、②音声教材・学習者用デジタル教科書の説明、③拡大教科書・音声教材・学習者用デジタル教科書の展示を行いました。

AEMCからの説明①

　はじめに、令和5年度に実施した拡大教科書フォーラムと拡大教科書製作団体（以下、団体）訪問の結果から、拡大教科書製作依頼数の減少、製作依頼の偏り、児童生徒からのフィードバックを課題として提示しました。また、AEMCが令和6年度に提供した画像とWORD/EPUBデータ、総ルビに対してあがった要望も報告しました。これらの課題と要望に応える取り組みを、今後具体的に検討・実行していきます。

AEMCからの説明②

　次に、令和7年度に大改訂となる中学校の教科書データ提供の見通しを説明しました。教科書のPDFデータは従来通りできるだけ早く提供し、テキストデータは分割して提供する予定です。また、テキスト化の仕様と範囲についても提案しましたが、これから各団体にアンケートを実施し、内容を確定していきます。

音声教材等・学習者用デジタル教科書紹介

　音声教材等を提供している7団体と、学習者用デジタル教科書の概要を説明しました。一部の音声教材等と学習者用デジタル教科書は実際に体験していただけるよう、拡大教科書の製作物等の展示と平行して、サンプルを操作できる場を提供しました。

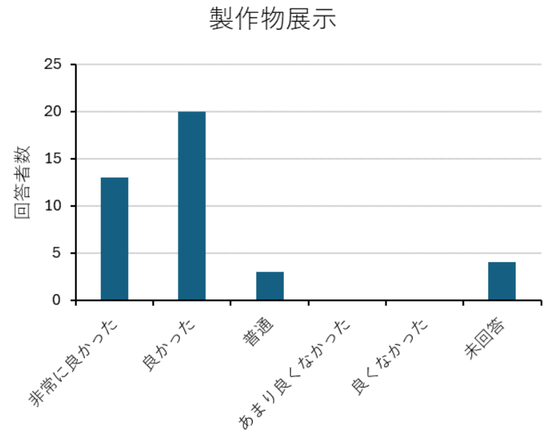
　サンプルを体験した方は、機能や操作方法（縦書き、拡大、読み上げ、色調整など）、入手（購入）の可否について熱心に尋ねている様子が見られました。また、児童生徒がこれらをどのように使用して学習しているのか、紙の拡大教科書とどう共存していくのか、現状と将来的な動向に関心がある様子でした。今後の調査研究のテーマとして、AEMCでも検討していきたいと思います。

　事後アンケートから、時間の関係で、音声教材等・学習者用デジタル教科書のブースを十分に見学できなかった人もいたようでした。

製作物展示

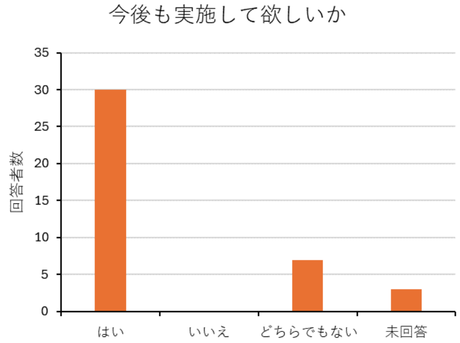
拡大フォーラムの後半1時間で、各団体が持参した製作物の展示を行いました。成果物のそばには団体のメンバーが立ち、見学者の質問に答えていました。各々の団体が抱える課題への気づきが得られたり、他団体の技術や工夫を学ぶ機会となったり、「参考になった」という感想が多く出ました。

今回のフォーラムで最も好評だった項目でしたが、30分は説明側に回らないといけないため、見学時間の30分は短く感じられたようです。



事後アンケートによせて

AEMCからの情報提供に対して、大きな声でゆっくりと話して欲しいという意見が多く見られました。前回の拡大教科書フォーラムが4時間だったのに比べて、今回は2時間であったため、全体的に駆け足での実施となってしまったことをお詫び申し上げます。今後も実施して欲しいというお声も多く寄せられましたので、来年度実施ができましたら、反省を生かし、余裕のあるスケジュールを心がけます。



拡大教科書フォーラムの事前準備から当日の展示まで、団体の皆様には多大なご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。